

麻酔科専門医研修プログラム名	岡山大学病院 麻酔科専門医研修プログラム	
連絡先	TEL	086-235-7778
	FAX	086-235-6984
	e-mail	info@okadaimasui.com
	担当者名	岩崎 達雄
プログラム責任者 氏名	森松 博史	
研修プログラム 病院群 *病院群に所属する全施設名をご記入ください。	責任基幹施設	岡山大学病院
	基幹研修施設	・岡山旭東病院 ・岡山協立病院 ・岡山済生会病院 ・岡山市立市民病院 ・岡山赤十字病院 ・岡山労災病院 ・津山中央病院 ・竜操整形外科病院 ・国立病院機構岡山医療センター ・川崎医科大学附属川崎病院 ・水島中央病院 ・屋島総合病院 ・香川県立中央病院 ・香川労災病院 ・三豊総合病院 ・呉共済病院 ・中国中央病院 ・尾道市立市民病院 ・福山市民病院 ・国立病院機構福山医療センター ・三原赤十字病院

		・国立病院機構岩国医療センター ・高砂市民病院 ・神戸赤十字病院 ・姫路聖マリア病院 ・姫路赤十字病院 ・近森病院 ・愛宕病院 ・高知医療センター ・鳥取市立病院 ・舞鶴共済病院 ・国立がん研究センター中央病院 ・亀田総合病院
	関連研修施設	・川崎医科大学附属病院 ・倉敷リバーサイド病院 ・倉敷成人病センター ・りつりん病院 ・滝宮総合病院 ・興生総合病院 ・広島市立広島市民病院 ・静岡がんセンター ・島根大学医学部付属病院
プログラムの概要と特徴	責任基幹施設である岡山大学病院，基幹研修施設である岡山旭東病院・岡山協立病院・岡山済生会病院・岡山市立市民病院・岡山赤十字病院・岡山労災病院・津山中央病院・竜操整形外科病院・国立病院機構岡山医療センター・川崎医科大学附属川崎病院・水島中央病院・屋島総合病院・香川県立中央病院・香川労災病院・三豊総合病院・呉共済病院・中国中央病院・尾道市立市民病院・福山市民病院・国立病院機構福山医療センター・三原赤十字病院・国立病院機構岩国医療センター・高砂市民病院・神戸赤十字病院・姫路聖マリア病院・姫路赤十字病院・近森病院・愛宕病院・高知医療セン	

	ター・鳥取市立病院・舞鶴共済病院・国立がん研究センター中央病院・亀田総合病院，関連研修施設の川崎医科大学附属病院・倉敷リバーサイド病院・倉敷成人病センター・りつりん病院・滝宮総合病院・興生総合病院・広島市立広島市民病院・静岡がんセンター・島根大学医学部付属病院において，専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し，十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医を育成する．
プログラムの運営方針	• 研修内容・進行状況に配慮して，プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように，ローテーションを構築する． • 術前、術中、術後を通じてシームレスに患者管理をする事が周術期管理の質の向上のみならず、麻酔科医としての質の向上にもつながるとの考えから、プログラムに所属する全ての専攻医が術後重症患者を含む集中治療管理の研修が行なえる様にする。 • 希望者には麻酔専門医取得後すぐに集中治療専門医の申請が出来る様に本研修プログラム在籍中に集中治療専門医認定申請資格に必要な集中治療医研修専門施設での1年の研修、その期間中の集中治療に12週間以上の専従を行なえる様に配慮する。 • 希望者にはペインクリニック専門医、心臓血管麻酔専門医など他のsubspecialty の専門医の取得を念頭に入れたローテーションを考慮する。

2014 年度（岡山大学病院）麻酔科専門医研修プログラム

1. プログラムの概要と特徴

責任基幹施設である岡山大学病院，基幹研修施設である岡山旭東病院・岡山協立病院・岡山済生会病院・岡山市立市民病院・岡山赤十字病院・岡山労災病院・津山中央病院・竜操整形外科病院・国立病院機構岡山医療センター・川崎医科大学附属川崎病院・水島中央病院・屋島総合病院・香川県立中央病院・香川労災病院・三豊総合病院・呉共済病院・中国中央病院・尾道市立市民病院・福山市民病院・国立病院機構福山医療センター・三原赤十字病院・国立病院機構岩国医療センター・高砂市民病院・神戸赤十字病院・姫路聖マリア病院・姫路赤十字病院・近森病院・愛宕病院・高知医療センター・鳥取市立病院・舞鶴共済病院・国立がん研究センター中央病院・亀田総合病院，関連研修施設の川崎医科大学附属病院・倉敷リバーサイド病院・倉敷成人病センター・りつりん病院・滝宮総合病院・興生総合病院・広島市立広島市民病院・静岡がんセンター・島根大学医学部附属病院において，専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し，十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医を育成する。

2. プログラムの運営方針

- 研修内容・進行状況に配慮して，プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように，ローテーションを構築する。
- 術前、術中、術後を通じてシームレスに患者管理をする事が周術期管理の質の向上のみならず、麻酔科医としての質の向上にもつながるとの考えから、プログラムに所属する全ての専攻医が術後重症患者を含む集中治療管理の研修が行なえる様にする。
- 希望者には麻酔専門医取得後すぐに集中治療専門医の申請が出来る様に本研修プログラム在籍中に集中治療専門医認定申請資格に必要な集中治療医研修専門施設での1年の研修、その期間中の集中治療に12週間以上の専従を行なえる様に配慮する。
- 希望者にはペインクリニック専門医、心臓血管麻酔専門医など他のsubspecialtyの専門医の取得を念頭に入れたローテーションを考慮する。

3. 研修施設の指導体制と前年度麻酔科管理症例数

1) 責任基幹施設

岡山大学病院

プログラム責任者：森松 博史

指導医：森松 博史

武田 吉正

佐藤 健治

岩崎 達雄

藤井 洋泉

戸田 雄一郎

小林 求

西江 宏行

賀来 隆治

清水 一好

松岡 義和

佐々木 俊弘

松崎 孝

林 真雄

鈴木 聡

谷 真規子

専門医：杉本 健太郎

金澤 伴幸

麻酔科認定病院番号：23

麻酔科管理症例6404症例

	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	506症例
帝王切開術の麻酔	128症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	321症例
胸部外科手術の麻酔	385症例
脳神経外科手術の麻酔	249症例

2) 基幹研修施設

1. 岡山旭東病院

研修プログラム管理者：安川 毅

指導医：安川 毅

専門医：河原 英朗

辻 千晶

麻酔科認定病院番号：7 7 5 4

麻酔科管理症例 9 4 8 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	2 症例	2 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	0 症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 4 7 症例	1 4 7 症例

2. 岡山協立病院

研修プログラム管理者：木村 基信

専門医：木村 基信

武田 明

麻酔科認定病院番号：6 2 1

麻酔科管理症例 5 1 9 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0 症例	0 症例
帝王切開術の麻酔	7 症例	7 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	1 1 症例	1 1 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例	0 症例

3. 岡山済生会病院

研修プログラム管理者：小林 洋二

指導医：小林 洋二

水川 俊一

馬場 三和

物部 容子

専門医：遠藤 佐緒里

麻酔科認定病院番号：6 5 7

麻酔科管理症例 3 1 3 1 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	4 5 症例	4 5 症例
帝王切開術の麻酔	4 2 症例	4 2 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	1 2 4 症例	1 2 4 症例
脳神経外科手術の麻酔	8 4 症例	8 4 症例

4. 岡山市民病院

研修プログラム管理者：木村 雅一

指導医：木村 雅一

渡邊 陽子

専門医：越智 辰清

：谷岡 野人

麻酔科認定病院番号：6 6 2

麻酔科管理症例 1 2 6 4 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	5 症例	5 症例
帝王切開術の麻酔	1 3 症例	1 3 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	9 症例	9 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 2 4 症例	1 2 4 症例

5. 岡山赤十字病院

研修プログラム管理者：時岡 宏明

指導医：時岡 宏明

：實金 健

：福島 臣啓

：奥 格

：小林 浩之

：岩崎 衣津

専門医：石井 瑞恵

麻酔科認定病院番号：365

麻酔科管理症例 3505 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	58 症例	58 症例
帝王切開術の麻酔	77 症例	77 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	16 症例	16 症例
胸部外科手術の麻酔	176 症例	176 症例
脳神経外科手術の麻酔	161 症例	161 症例

6. 岡山労災病院

研修プログラム管理者：下田 豊

指導医：下田 豊

：大森 恵

専門医：村上 史高

：斎藤 智彦

麻酔科認定病院番号：528

麻酔科管理症例 1809 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	10 症例	10 症例
帝王切開術の麻酔	1 症例	1 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	1 症例	1 症例

胸部外科手術の麻酔	6 1 症例	6 1 症例
脳神経外科手術の麻酔	3 4 症例	3 4 症例

7. 津山中央病院

研修プログラム管理者：杉山 雅俊

指導医：杉山 雅俊

：森本 直樹

：萩岡 信吾

：川西 進

：内藤 宏道

麻酔科認定病院番号：9 2 1

麻酔科管理症例 1 8 2 7 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	3 6 症例	3 6 症例
帝王切開術の麻酔	6 8 症例	6 8 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	2 0 4 症例	2 0 4 症例
胸部外科手術の麻酔	7 9 症例	7 9 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 3 9 症例	1 3 9 症例

8. 竜操整形外科病院

研修プログラム管理者：松三 昌樹

指導医：松三 昌樹

：溝上 良一

麻酔科認定病院番号：1 4 9 2

麻酔科管理症例 7 2 7 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	6 症例	6 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例

胸部外科手術の麻酔	0 症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例	0 症例

9. 国立病院機構 岡山医療センター

研修プログラム管理者：株丹 浩二

指導医：小野 剛

：野上 悟史

専門医：株丹 浩二

：谷口 正廣

：伏見 美紀

麻酔科認定病院番号：9 6

麻酔科管理症例 3 0 0 2 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 7 1 症例	1 7 1 症例
帝王切開術の麻酔	1 5 6 症例	1 5 6 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	8 5 症例	8 5 症例
胸部外科手術の麻酔	9 7 症例	9 7 症例
脳神経外科手術の麻酔	5 3 症例	5 3 症例

10. 川崎医科大学附属川崎病院

研修プログラム管理者：片山 浩

指導医：片山 浩

：花崎 元彦

：落合 陽子

専門医：片山 大輔

麻酔科認定病院番号：2 1 1

麻酔科管理症例 1 3 7 5 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	6 8 症例	6 8 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例

心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	3 1 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	6 0 症例	6 0 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 4 症例	1 4 症例

11. 水島中央病院

研修実施責任者：難波 力

指導医：難波 力

麻酔科認定病院番号：1 5 9 6

麻酔科管理症例 5 1 0 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 0 症例	1 0 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	5 症例	5 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 0 症例	1 0 症例

12. 屋島総合病院

研修プログラム管理者：岡田 尚起

専門医：瀬戸 甲蔵

：岡田 尚起

麻酔科認定病院番号：5 7 7

麻酔科管理症例 1 0 1 7 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 3 症例	1 3 症例
帝王切開術の麻酔	2 2 症例	2 2 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	7 症例	7 症例
胸部外科手術の麻酔	1 症例	1 症例
脳神経外科手術の麻酔	2 5 症例	2 5 症例

13. 香川県立中央病院

研修プログラム管理者：平崎 盟人

指導医：谷津 祐市

専門医：平崎 盟人

：松田 力哉

：長井 昭宏

：武部 佐和子

：井上 一由

：池田 智子

：大西 淳司

麻酔科認定病院番号：150

麻酔科管理症例 3301 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	47 症例	47 症例
帝王切開術の麻酔	119 症例	119 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	85 症例	85 症例
胸部外科手術の麻酔	174 症例	174 症例
脳神経外科手術の麻酔	95 症例	95 症例

14. 香川労災病院

研修プログラム管理者：北浦 道夫

指導医：北浦 道夫

：戸田 成志

：友塚 直人

専門医：小野 潤二

：鈴木 勉

：岡部 大輔

麻酔科認定病院番号：275

麻酔科管理症例 3298 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	7 症例	7 症例
帝王切開術の麻酔	3 7 症例	3 7 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	1 1 7 症例	1 1 7 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 5 2 症例	1 5 2 症例

15. 三豊総合病院

研修プログラム管理者：小松 達彦

指導医：小松 達彦

：松下 幹晴

専門医：長野 ゆり

麻酔科認定病院番号：4 6 1

麻酔科管理症例 1 2 9 8 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 4 症例	1 4 症例
帝王切開術の麻酔	5 5 症例	5 5 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	3 8 症例	3 8 症例
胸部外科手術の麻酔	7 3 症例	7 3 症例
脳神経外科手術の麻酔	8 8 症例	8 8 症例

16. 呉共済病院

研修プログラム管理者：中村 公輔

指導医：中村 公輔

：東 龍哉

専門医：山之井 智子

：武藤 渚

麻酔科認定病院番号：2 9 0

麻酔科管理症例 1 5 7 8 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 6 症例	1 6 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	4 2 症例	4 2 症例
胸部外科手術の麻酔	5 4 症例	5 4 症例
脳神経外科手術の麻酔	6 2 症例	6 2 症例

17. 中国中央病院

研修プログラム管理者：坂野 成宏

指導医：坂野 成宏

：田中 利明

麻酔科認定病院番号：1 0 3 4

麻酔科管理症例 8 2 0 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0 症例	0 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	1 2 5 症例	1 2 5 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例	0 症例

18. 尾道市立市民病院

研修プログラム管理者：突沖 満則

指導医：突沖 満則

：檀浦 徹也

麻酔科認定病院番号：8 7 8

麻酔科管理症例 1 7 9 2 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 1 症例	1 1 症例
帝王切開術の麻酔	9 症例	9 症例

心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	8 5 症例	8 5 症例
脳神経外科手術の麻酔	5 1 症例	5 1 症例

19. 福山市民病院

研修プログラム管理者：小野 和身

指導医：小野 和身

：日高 秀邦

：小山 祐介

：石井 賢造

専門医：田中 千春

：田口 真也

：小坂 真子

：岡崎 信樹

麻酔科認定病院番号：7 2 5

麻酔科管理症例 3 5 7 0 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 4 3 症例	1 4 3 症例
帝王切開術の麻酔	6 8 症例	6 8 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	7 0 症例	7 0 症例
胸部外科手術の麻酔	1 0 2 症例	1 0 2 症例
脳神経外科手術の麻酔	6 6 症例	6 6 症例

20. 国立病院機構 福山医療センター

研修プログラム管理者：八塚 秀彦

指導医：八塚 秀彦

専門医：小橋 真司

：木村 聡

：木田 好美

麻酔科認定病院番号：7 4 3

麻酔科管理症例 3 1 3 7 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 3 1 症例	1 3 1 症例
帝王切開術の麻酔	2 6 4 症例	2 6 4 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	9 1 症例	9 1 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例	0 症例

21. 三原赤十字病院

研修プログラム管理者：前田 正人

専門医：前田 正人

麻酔科認定病院番号：1 1 5 7

麻酔科管理症例 5 8 4 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 5 症例	1 5 症例
帝王切開術の麻酔	1 2 症例	1 2 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	7 症例	7 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例	0 症例

22. 国立病院機構 岩国医療センター

研修プログラム管理者：佐伯 晋成

指導医：佐伯 晋成

専門医：熊野 夏美

：難波 研二

麻酔科認定病院番号：1 3 4 5

麻酔科管理症例 2 4 7 9 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	9 4 症例	9 4 症例
帝王切開術の麻酔	7 3 症例	7 3 症例

心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	1 4 9 症例	1 4 9 症例
胸部外科手術の麻酔	1 8 3 症例	1 8 3 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 4 9 症例	1 4 9 症例

23. 高砂市民病院

研修プログラム管理者：佐牟田 健

指導医：佐牟田 健

築地 崇

麻酔科認定病院番号：1 1 7 2

麻酔科管理症例 6 5 2 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 1 症例	1 1 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	3 2 症例	3 2 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例	0 症例

24. 神戸赤十字病院

研修プログラム管理者：荒木 淳一

指導医：荒木 淳一

専門医：小野 大輔

：大石 悠理

麻酔科認定病院番号：1 0 5 9

麻酔科管理症例 2 1 8 9 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	2 7 症例	2 7 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	1 7 6 症例	1 7 6 症例

胸部外科手術の麻酔	9 9 症例	9 9 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 1 1 症例	1 1 1 症例

25. 姫路聖マリア病院

研修プログラム管理者：若林 隆信

指導医：若林 隆信

：山本 公三

：高原 寛

麻酔科認定病院番号：1 0 6 3

麻酔科管理症例 1 7 5 3 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	8 2 症例	8 2 症例
帝王切開術の麻酔	3 1 症例	3 1 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	3 5 症例	3 5 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例	0 症例

26. 姫路赤十字病院

研修プログラム管理者：倉迫 敏明

指導医：松本 睦子

：倉迫 敏明

：八井田 豊

：石川 慎一

：仙田 正博

：山岡 正和

専門医：上川 竜生

：古島 夏奈

麻酔科認定病院番号：7 7 6

麻酔科管理症例 3 9 3 5 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	3 5 4 症例	3 5 4 症例

帝王切開術の麻酔	2 1 9 症例	2 1 9 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	6 症例	6 症例
胸部外科手術の麻酔	5 7 症例	5 7 症例
脳神経外科手術の麻酔	8 8 症例	8 8 症例

27. 近森病院

研修プログラム管理者：楠目 祥雄

指導医：楠目 祥雄

：須賀 太郎

麻酔科認定病院番号：4 1 3

麻酔科管理症例 1 8 8 6 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 5 症例	1 5 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	1 6 9 症例	1 6 9 症例
胸部外科手術の麻酔	2 7 症例	2 7 症例
脳神経外科手術の麻酔	7 1 症例	7 1 症例

28. 愛宕病院

研修プログラム管理者：御川 安仁

指導医：御川 安仁

：佐藤 正樹

麻酔科認定病院番号：1 6 9 1

麻酔科管理症例 5 9 5 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0 症例	0 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0 症例	0 症例

胸部外科手術の麻酔	0 症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	3 0 症例	3 0 症例

29. 高知医療センター

研修プログラム管理者：杉本 清治

指導医：難波 健利

：杉本 清治

専門医：滝本 恵里

：鬼頭 英介

：濱田 暁

：徳丸 さやか

麻酔科認定病院番号：6 6

麻酔科管理症例 4 5 8 3 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	2 5 3 症例	2 5 3 症例
帝王切開術の麻酔	2 6 0 症例	2 6 0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	2 7 9 症例	2 7 9 症例
胸部外科手術の麻酔	1 4 8 症例	1 4 8 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 5 1 症例	1 5 1 症例

30. 鳥取市立病院

研修プログラム管理者：浅雄 保宏

専門医：浅雄 保宏

：樋口 智康

：清水 貴志

麻酔科認定病院番号：5 9 9

麻酔科管理症例 1 8 8 0 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	2 0 症例	2 0 症例
帝王切開術の麻酔	4 4 症例	4 4 症例

心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	3 0 症例	3 0 症例
脳神経外科手術の麻酔	5 8 症例	5 8 症例

31. 舞鶴共済病院

研修プログラム管理者：白石 建輔

指導医：白石建輔

麻酔科認定病院番号：1 4 1 7

麻酔科管理症例 8 8 7 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	2 4 症例	2 4 症例
帝王切開術の麻酔	1 症例	1 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	8 8 症例	8 8 症例
胸部外科手術の麻酔	1 症例	1 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例	0 症例

32. 国立がん研究センター中央病院

研修プログラム管理者：佐藤 哲文

指導医：佐藤 哲文

：横川 陽子

：木下 陽子

：新井 美奈子

専門医：松三 絢弥

麻酔科認定病院番号：4 3

麻酔科管理症例 4 2 3 9 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	3 0 8 症例	3 0 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0 症例	0 症例

胸部外科手術の麻酔	7 2 0 症例	7 0 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 0 1 症例	1 0 症例

33. 亀田総合病院

研修実施責任者：小林 収

指導医：小林 収

：高橋 幸雄

：鏑木 紀子

：安保 佳苗

：吉沼 裕美

：中村 京一

麻酔科認定病院番号：3 6 7

麻酔科管理症例 5 9 5 1 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 2 9 症例	1 2 9 症例
帝王切開術の麻酔	2 1 7 症例	2 1 7 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	1 2 2 症例	1 2 2 症例
胸部外科手術の麻酔	1 9 2 症例	1 9 2 症例
脳神経外科手術の麻酔	9 0 症例	9 0 症例

3）関連研修施設

1. 川崎医科大学附属病院

研修実施責任者：中塚 秀輝

指導医：中塚 秀輝

：藤田 喜久

：大橋 一郎

：前島 亨一郎

専門医：高田 研

：日根野谷 一

：谷野 雅昭

：山本 雅子

麻酔科認定病院番号： 7 7

麻酔科管理症例 4 4 2 8 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	2 8 0 症例	0 症例
帝王切開術の麻酔	4 7 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	9 2 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	2 6 1 症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 3 4 症例	0 症例

2. 倉敷リバーサイド病院

研修実施責任者：吉川 慶三

専門医：吉川 慶三

麻酔科認定病院番号： 1 6 6 2

麻酔科管理症例 4 5 3 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0 症例	0 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	0 症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例	0 症例

3. 倉敷成人病センター

研修実施責任者：楠戸 和仁

指導医：楠戸 和仁

岡田 昌平

郷原 徹

麻酔科認定病院番号： 6 4 3

麻酔科管理症例 2 7 2 6 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0 症例	0 症例
帝王切開術の麻酔	2 6 5 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	0 症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例	0 症例

4. りつりん病院

研修実施責任者：小西 英毅

専門医：小西 英毅

麻酔科認定病院番号：1 6 8 6

麻酔科管理症例 3 6 2 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	6 症例	6 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	8 症例	8 症例
脳神経外科手術の麻酔	1 症例	1 症例

5. 滝宮総合病院

研修実施責任者：真嶋良昭

専門医：真嶋良昭

麻酔科認定病院番号：5 9 4

麻酔科管理症例 4 4 7 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	4 症例	4 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	2 症例	2 症例

胸部外科手術の麻酔	1 1 症例	1 1 症例
脳神経外科手術の麻酔	3 症例	3 症例

6. 興生総合病院

研修実施責任者：河村 茂雄

指導医：河村 茂雄

麻酔科認定病院番号：4 9 0

麻酔科管理症例 1 6 1 9 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1 7 症例	1 7 症例
帝王切開術の麻酔	8 4 症例	8 4 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	2 6 症例	2 6 症例
胸部外科手術の麻酔	6 症例	6 症例
脳神経外科手術の麻酔	5 6 症例	5 6 症例

7. 広島市立広島市民病院

研修実施責任者：鷹取 誠

指導医：鷹取 誠

：武藤 純

：藤中 和三

：上原 健司

専門医：高田 由以子

：藤中 有紀

：後藤 隆司

：寺田 統子

：松本 森作

：内藤 博司

麻酔科認定病院番号：1 7 0

麻酔科管理症例 6 6 3 3 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	6 2 6 症例	0 症例

帝王切開術の麻酔	4 4 5 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	5 7 8 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	3 4 9 症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	2 3 0 症例	0 症例

8. 静岡がんセンター

研修実施責任者：玉井 直

指導医：玉井 直

江間 義明

竹口 有美

専門医：安藤 憲興

大塚 仁美

山下 麻子

麻酔科認定病院番号：9 7 2

麻酔科管理症例 3 2 8 2 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	7 症例	0 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	4 1 1 症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	7 4 症例	0 症例

9. 島根大学医学部付属病院

研修実施責任者：齊藤 洋司

指導医：齊藤 洋司

今町 憲貴

紫藤 明美

本岡 明浩

二階 哲朗

串崎 浩行

三原 亨

太田 淳一

佐倉 伸一

橋本 龍也

専門医：南 浩太郎

平出 律子

橋本 愛

蓼沼 佐岐

横井 信哉

横井 いさな

松田 高志

麻酔科認定病院番号：202

麻酔科管理症例 3359 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	269 症例	0 症例
帝王切開術の麻酔	91 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	93 症例	0 症例
胸部外科手術の麻酔	193 症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	96 症例	0 症例

本プログラムにおける前年度症例合計

麻酔科管理症例：99742 症例

	合計症例数
小児（6歳未満）の麻酔	2380 症例
帝王切開術の麻酔	2007 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	1886 症例
胸部外科手術の麻酔	2735 症例
脳神経外科手術の麻酔	2372 症例

4. 募集定員

94名

5. プログラム責任者 問い合わせ先

岡山大学病院 麻酔科蘇生科 教授

森松博史

岡山県岡山市北区鹿田町2-5-8

TEL 086-235-7778

6. 本プログラムの研修カリキュラム到達目標

①一般目標

安全かつ安心な周術期医療の提供といった国民のニーズに応えることのできる、麻酔科およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の4つの資質を修得する。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技量
- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学を則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

②個別目標

目標1 基本知識

麻酔科診療に必要な下記知識を習得し、臨床応用できる。具体的には公益法人日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の学習ガイドラインに準拠する。

1) 総論：

- a) 麻酔科医の役割と社会的な意義、医学や麻酔の歴史について理解している。
- b) 麻酔の安全と質の向上：麻酔の合併症発生率、リスクの種類、安全指針、医療の質向上に向けた活動などについて理解している。手術室の安全管理、環境整備について理解し、実践できる。

2) 生理学：下記の臓器の生理・病態生理、機能、評価・検査、麻酔の影響などについて理解している。

- a) 自律神経系
- b) 中枢神経系

- c) 神経筋接合部
- d) 呼吸
- e) 循環
- f) 肝臓
- g) 腎臓
- h) 酸塩基平衡, 電解質
- i) 栄養

3) 薬理学: 薬力学, 薬物動態を理解している. 特に下記の麻酔関連薬物について作用機序, 代謝, 臨床上の効用と影響について理解している.

- a) 吸入麻酔薬
- b) 静脈麻酔薬
- c) オピオイド
- d) 筋弛緩薬
- e) 局所麻酔薬

4) 麻酔管理総論: 麻酔に必要な知識を持ち, 実践できる

- a) 術前評価: 麻酔のリスクを増す患者因子の評価, 術前に必要な検査, 術前に行うべき合併症対策について理解している.
- b) 麻酔器, モニター: 麻酔器・麻酔回路の構造, 点検方法, トラブルシューティング, モニター機器の原理, 適応, モニターによる生体機能の評価, について理解し, 実践ができる.
- c) 気道管理: 気道の解剖, 評価, 様々な気道管理の方法, 困難症例への対応などを理解し, 実践できる.
- d) 輸液・輸血療法: 種類, 適応, 保存, 合併症, 緊急時対応などについて理解し, 実践ができる.
- e) 脊髄くも膜下麻酔, 硬膜外麻酔: 適応, 禁忌, 関連する部所の解剖, 手順, 作用機序, 合併症について理解し, 実践ができる
- f) 神経ブロック: 適応, 禁忌, 関連する部所の解剖, 手順, 作用機序, 合併症について理解し, 実践ができる.

5) 麻酔管理各論: 下記の様々な科の手術に対する麻酔方法について, それぞれの特性と留意すべきことを理解し, 実践ができる.

- a) 腹部外科
- b) 腹腔鏡下手術

- c) 胸部外科
- d) 成人心臓手術
- e) 血管外科
- f) 小児外科
- g) 小児心臓外科
- h) 高齢者の手術
- i) 脳神経外科
- j) 整形外科
- k) 外傷患者
- l) 泌尿器科
- m) 産婦人科
- n) 眼科
- o) 耳鼻咽喉科
- p) レーザー手術
- q) 臓器移植
- r) 手術室以外での麻酔

6) 術後管理：術後回復とその評価，術後の合併症とその対応に関して理解し，実践できる．

7) 集中治療：成人・小児の集中治療を要する疾患の診断と集中治療について理解し，実践できる．

8) 救急医療：救急医療の代表的な病態とその評価，治療について理解し，実践できる．それぞれの患者にあった蘇生法を理解し，実践できる．AHA-ACLS，またはAHA-PALSプロバイダーコースを受講し，プロバイダーカードを取得している．

9) ペイン：周術期の急性痛・慢性痛の機序，治療について理解し，実践できる．

目標 2 診療技術

麻酔科診療に必要な下記基本手技に習熟し，臨床応用できる．具体的には日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の基本手技ガイドラインに準拠する．

1) 基本手技ガイドラインにある下記のそれぞれの基本手技について，定められたコース目標に到達している．

- a) 血管確保・血液採取
- b) 気道管理

- c) モニタリング
- d) 治療手技
- e) 心肺蘇生法
- f) 麻酔器点検および使用
- g) 脊髄くも膜下麻酔
- h) 鎮痛法および鎮静薬
- i) 感染予防

目標3 マネジメント

麻酔科専門医として必要な臨床現場での役割を実践することで、患者の命を助けることができる。

- 1) 周術期などの予期せぬ緊急事象に対して、適切に対処できる技術、判断能力を持っている。
- 2) 医療チームのリーダーとして、他科の医師、他職種を巻き込み、統率力をもって、周術期の刻々と変化する事象に対応をすることができる。

目標4 医療倫理，医療安全

医師として診療を行う上で、医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身につける。医療安全についての理解を深める。

- 1) 指導担当する医師とともにon the job training環境の中で、協調して麻酔科診療を行うことができる。
- 2) 他科の医師、コメディカルなどと協力・協働して、チーム医療を実践することができる。
- 3) 麻酔科診療において、適切な態度で患者に接し、麻酔方法や周術期合併症をわかりやすく説明し、インフォームドコンセントを得ることができる。
- 4) 初期研修医や他の医師、コメディカル、実習中の学生などに対し、適切な態度で接しながら、麻酔科診療の教育をすることができる。

目標5 生涯教育

医療・医学の進歩に則して、生涯を通じて自己の能力を研鑽する向上心を醸成する。

- 1) 学習ガイドラインの中の麻酔における研究計画と統計学の項目に準拠して、EBM, 統計, 研究計画などについて理解している。
- 2) 院内のカンファレンスや抄読会、外部のセミナーやカンファレンスなどに出席し、

積極的に討論に参加できる。

3) 学術集会や学術出版物に、症例報告や研究成果の発表をすることができる。

4) 臨床上の疑問に関して、指導医に尋ねることはもとより、自ら文献・資料などを用いて問題解決を行うことができる。

③経験目標

研修期間中に手術麻酔、集中治療、ペインの十分な臨床経験を積む。通常の全身麻酔・硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・神経ブロックの症例経験に加え、下記の所定の件数の特殊麻酔を担当医として経験する。ただし、帝王切開手術、胸部外科手術、脳神経外科手術に関しては、一症例の担当医は1人、小児と心臓血管手術については一症例の担当医は2人までとする。

・小児（6歳未満）の麻酔	25症例
・帝王切開術の麻酔	10症例
・心臓血管外科の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	25症例
・胸部外科手術の麻酔	25症例
・脳神経外科手術の麻酔	25症例

7. 各施設における到達目標と評価項目

各施設における研修カリキュラムに沿って、各参加施設において、それぞれの専攻医に対し年次毎の指導を行い、その結果を別表の到達目標評価表を用いて到達目標の達成度を評価する。

(岡山大学病院) 研修カリキュラム到達目標

①一般目標

安全で質の高い周術期医療を提供し国民の健康と福祉の増進に寄与することのできる、麻酔科およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の4つの資質を修得する。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技量
- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力，問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し，診療を行う上での適切な態度，習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学を則して，生涯を通じて研鑽を継続する向上心

②個別目標

目標1（基本知識）麻酔科診療に必要な下記知識を習得し，臨床応用できる。具体的には公益法人日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の学習ガイドラインに準拠する。

1) 総論：

- a) 麻酔科医の役割と社会的な意義，医学や麻酔の歴史について理解している。
- b) 麻酔の安全と質の向上：麻酔の合併症発生率，リスクの種類，安全指針，医療の質向上に向けた活動などについて理解している。手術室の安全管理，環境整備について理解し，実践できる。

2) 生理学：下記の臓器の生理・病態生理，機能，評価・検査，麻酔の影響などについて理解している。

- a) 自律神経系
- b) 中枢神経系
- c) 神経筋接合部
- d) 呼吸
- e) 循環
- f) 肝臓
- g) 腎臓
- h) 酸塩基平衡，電解質
- i) 栄養

3) 薬理学：薬力学，薬物動態を理解している。特に下記の麻酔関連薬物について作用機序，代謝，臨床上の効用と影響について理解している。

- a) 吸入麻酔薬
- b) 静脈麻酔薬
- c) オピオイド
- d) 筋弛緩薬
- e) 局所麻酔薬

4) 麻酔管理総論：麻酔に必要な知識を持ち，実践できる

- a) 術前評価：麻酔のリスクを増す患者因子の評価，術前に必要な検査，術前に行うべき合併症対策について理解している．
- b) 麻酔器，モニター：麻酔器・麻酔回路の構造，点検方法，トラブルシューティング，モニター機器の原理，適応，モニターによる生体機能の評価，について理解し，実践ができる．
- c) 気道管理：気道の解剖，評価，様々な気道管理の方法，困難症例への対応などを理解し，実践できる．
- d) 輸液・輸血療法：種類，適応，保存，合併症，緊急時対応などについて理解し，実践ができる．
- e) 脊髄くも膜下麻酔，硬膜外麻酔：適応，禁忌，関連する部所の解剖，手順，作用機序，合併症について理解し，実践ができる
- f) 神経ブロック：適応，禁忌，関連する部所の解剖，手順，作用機序，合併症について理解し，実践ができる．

5) 麻酔管理各論：下記の様々な科の手術に対する麻酔方法について，それぞれの特性と留意すべきことを理解し，実践ができる．

- a) 腹部外科
- b) 腹腔鏡下手術
- c) 胸部外科
- d) 成人心臓手術
- e) 血管外科
- f) 小児外科
- g) 高齢者の手術
- h) 脳神経外科
- i) 整形外科
- j) 外傷患者
- k) 泌尿器科
- l) 産婦人科

- m) 眼科
- n) 耳鼻咽喉科
- o) レーザー手術
- p) 臓器移植
- q) 手術室以外での麻酔

6) 術後管理：術後回復とその評価，術後の合併症とその対応に関して理解し，実践できる．

7) 集中治療：成人・小児の集中治療を要する疾患の診断と集中治療について理解し，実践できる．

8) 救急医療：救急医療の代表的な病態とその評価，治療について理解し，実践できる．それぞれの患者にあった蘇生法を理解し，実践できる．AHA-ACLS，またはAHA-PALSプロバイダーコースを受講し，プロバイダーカードを取得している．

9) ペイン：周術期の急性痛・慢性痛の機序，治療について理解し，実践できる．

目標 2（診療技術）麻酔科診療に必要な下記基本手技に習熟し，臨床応用できる．具体的には日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の基本手技ガイドラインに準拠する．

1) 基本手技ガイドラインにある下記のそれぞれの基本手技について，定められたコース目標に到達している．

- a) 血管確保・血液採取
- b) 気道管理
- c) モニタリング
- d) 治療手技
- e) 心肺蘇生法
- f) 麻酔器点検および使用
- g) 脊髄くも膜下麻酔
- h) 鎮痛法および鎮静薬
- i) 感染予防

目標 3（マネジメント）麻酔科専門医として必要な臨床現場での役割を実践することで，患者の命を助けることができる．

1) 周術期などの予期せぬ緊急事象に対して，適切に対処できる技術，判断能力を持っている．

2) 医療チームのリーダーとして、他科の医師、他職種を巻き込み、統率力をもって、周術期の刻々と変化する事象に対応をすることができる。

目標 4 (医療倫理, 医療安全) 医師として診療を行う上で、医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身につける。医療安全についての理解を深める。

1) 指導担当する医師とともに臨床研修環境の中で、協調して麻酔科診療を行うことができる。

2) 他科の医師、コメディカルなどと協力・協働して、チーム医療を実践することができる。

3) 麻酔科診療において、適切な態度で患者に接し、麻酔方法や周術期合併症をわかりやすく説明し、インフォームドコンセントを得ることができる。

4) 初期研修医や他の医師、コメディカル、実習中の学生などに対し、適切な態度で接しながら、麻酔科診療の教育をすることができる。

目標 5 (生涯教育) 医療・医学の進歩に則して、生涯を通じて自己の能力を研鑽する向上心を醸成する。

1) 学習ガイドラインの中の麻酔における研究計画と統計学の項目に準拠して、EBM, 統計, 研究計画などについて理解している。

2) 院内のカンファレンスや抄読会, 外部のセミナーやカンファレンスなどに出席し, 積極的に討論に参加できる。

3) 学術集会や学術出版物に, 症例報告や研究成果の発表をすることができる。

4) 臨床上の疑問に関して, 指導医に尋ねることはもとより, 自ら文献・資料などを用いて問題解決を行うことができる。

③経験目標

研修期間中に手術麻酔, 集中治療, ペインクリニックの十分な臨床経験を積む。通常の全身麻酔・硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・神経ブロックの症例経験に加え, 下記の特種麻酔を担当医として経験する。

- ・小児 (6 歳未満) の麻酔
- ・帝王切開術の麻酔
- ・心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)
- ・胸部外科手術の麻酔
- ・脳神経外科手術の麻酔